

令和7年度 第1回伊勢原市学校給食運営審議会 議事録

[開催日時] 令和7年8月29日(金) 午後1時30分から午後3時

[開催場所] 伊勢原市役所3階 3A会議室

[出席者]

(委員) 西原口 紗希子：伊勢原市PTA連絡協議会副会長
溝口 健太郎：公募委員
神戸 佳子：東海大学児童教育学部児童教育学科教授
嶋本 信之：小学校長代表
櫻井 綾子：中学校長代表
吉田 容子：栄養教諭・学校栄養職員代表
(事務局) 今井学校教育担当部長 守屋参事 福田学校給食係長 北村栄養士

[公開可否] 公開

[傍聴者数] 0人

[審議の経過]

- 1 開会
- 2 教育長挨拶
- 3 委嘱状交付
- 4 委員紹介
- 5 諮問
- 6 議事「学校給食費の額について」
- 7 その他
- 9 閉会

[内容]

- 1 開会
- 2 教育長挨拶(教育長欠席のため、代理で今井学校教育担当部長から挨拶)
(概要)

本日は、大変お忙しいところお集まりくださりありがとうございます。

伊勢原市学校給食運営審議会は、学校給食の運営に関する重要な事項を調査、審議する教育委員会の附属機関として、令和6年度は2回委員会を開催し、学校給食費の額について審議し、答申をいただきました。委員の皆様には、御多忙のところ御協力いただきましたこと、感謝申し上げます。

さて、本市の学校給食は、小学校10校においては自校方式で、中学校4校においては選択制デリバリー方式でそれぞれ実施しております。

学校給食費のうち、小学校については、令和7年4月から給食費は市の一般会計で管理する公会計となりました。このことにより、教職員の働き方改革を進めることができ、また、保護者の皆様には、学校が指定した金融機関で新規に口座を開設せず、ご自身が開設している口座から給食費の口座振替ができるようになるなど、利便性の向上を図ることができました。

なお、中学校においては選択制デリバリー方式であることから、引き続き電子システムで教育委員会が私会計として、管理しております。

今回の会議は、令和8年度の学校給食費の額を定めるに当たり答申を頂戴するため開催するものです。

昨年度の審議会において、小学校は1食当たり290円、中学校は310円と答申され、令和7年度の給食費はその額で規則を定めましたが、答申後も物価上昇は続いており、給食で扱う物資も例外ではなく、特にお米の値上がりは児童・生徒に提供する給食に大きく影響を及ぼしております。

このため、本市の将来を担う児童・生徒に対し、学校給食における適切な栄養価を維持し、安全、安心で充実した内容の給食を提供できるよう、来年度の適正な給食費について御意見を頂戴したいと存じております。

また、中学校給食の給食費の額についても、合わせて御意見を頂戴したいと存じております。忌憚のない御意見を頂戴いただければ幸いです。

なお、今後は、老朽化が進んでいる給食室の今後の在り方等も議論をお願いしたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

3 委嘱状交付

4 委員紹介

5 諮問

今井担当部長から神戸会長に諮問が手交された。

6 議事

(事務局)

伊勢原市学校給食運営審議会規則第6条の規定により、神戸会長に議長職をお願いし、議事の進行をお願いします。

(議長)

ただいまお話がありましたとおり、議長を務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは議題学校給食費の額について事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

資料に沿って説明。

適正な給食費の額について、小学校は1食325円、中学校は1食354円と提案した。

(議長)

ご説明いただきありがとうございます。

それでは皆様お手元の資料をご覧くださいまして、ご質問あるいはご意見などございましたら、発言をお願いいたします。

(委員)

今年4月から学校に戻りまして、久しぶりに給食を食べています。

本当に毎日毎日、美味しく給食を食べさせていただいております。

量も適正な量で食べていますが、やはり10年前と比べると、少しずつお楽しみの部分が減っていると思っています。

七夕のときに、七夕ゼリーが出たり、何かのときには、ワインゼリーとかが出たり、クリスマスときにはケーキのようなデザートが出たりして、また、そういうのが出たときには、すごく子供たちの嬉しそうな顔というか、ちょっとしたもので

すが、それだけですごく雰囲気明るくなるというようなことを非常に覚えています。その部分が本当に最近減っているという印象があります。

(委員)

先日、保健衛生委員会に参加しまして、その中で栄養教諭さんのお話を伺いました。食材の高騰により、どうしても食材を変更して、キャベツを使うことが多くなり、そうすると副菜がだいぶ似通ってきてしまう。また、子供たちがすごく好んで食べるメニューとそうでないメニューというのを見たときに、どうしても食材の高騰というところを、切り離して考えることはできないという話が、非常に印象に残っております。やはり子どもたちが学校へ行くときに、今日の給食って何だろうってということも、学校へ行く動機づけの一つであり、楽しみなメニューや楽しみなデザートが出てると「やった」という気持ちで、朝学校に向かっている姿を見ますと、物価高騰によって給食費が上がるということは、やむを得ない流れなのではないかと感じています。

(委員)

中学校は選択制のデリバリー給食ですが、喫食率も上がっていると聞いてます。

子どもたちの中で、デリバリーの給食が美味しいというような声も聞かれますし、最初は、選択制のデリバリー給食を心配していた保護者の方も、子どもたちが美味しく食べているという話を聞いて安心しているようです。また保護者の方からは、家庭ではお米が高騰しているため、素麺を夕飯に出したり、うどんを食べさせたりしていると聞きますが、ランチボックスの中には、今すごく貴重なご飯がぎっしりと入っており、子どもたちがしっかりお米を食べられるということは大変良いと思っています。

今の説明を聞いて考えると、この秋から油も上がるという話を聞いていますので、令和8年からの給食費の値上げは、至極当然ではないかと思えます。むしろ7年度のこの後は大丈夫なのかと思えます。栄養教諭さんや栄養士さんが本当に工夫して、ご苦労をしているので、8年度はこれでいいけれども、7年度のこの後は大丈夫かというぐらい、大変苦労してやっていただいているということが、本日の資料からも伺いとれましたので、先ほどの意見でも、子どもたちにとって給食が学校に行く一つのきっかけであること、別の委員からは給食は子どもたちの楽しみであるという話もありましたので、ぜひ子どもたちにとって安全で、安心して美味しい給食を担保するために給食費を値上げすることは、当然ではないかと思っている次第です。

(委員)

今回、消費者物価指数を出していただいて、ありがとうございます。私も製造業に携わっておりますので、やはり各企業の生産性向上をもってしても値上げをお願いしなければいけないというのは苦渋の決断で、どこのメーカーもされていると思いますので、値上がっているということは、致し方ないと思えます。

上昇率に対しての今回の方針について、一度持ち帰り精査を進めますが、概ね賛成をする方向ではございます。

話しは変わりますが、私は息子2人と娘1人の子どもがおり、小学校中学校に通っておりまして、給食に関してヒアリングしてきたところ、十分満足させていただいていると確認しました。

中学校のデリバリー給食については、一部開始当初は、味とかに不安もあって、いろいろなご意見がありましたが、今は、息子や娘も美味しいとの意見です。一部のメニューについては改善してほしいという意見もありますが、概ね満足しています。

ただ、一つ改善できるのであれば、主食のご飯の量について、特に中学生は中学1年生から中学3年生、男女比でいうと大分量も個人差が大きいということで、中

学1年生の女子は少し多くて、全般的に男子にはすこし少ないという意見があるそうです。

残った分とか一つ予備があれば皆で食べるということらしいのですが、やはりこのご時世、どうしても残してしまうことに対しては、物価上昇の観点からも、改善の余地があるのではないかと思います。例えばご飯のサイズのバリエーションを二つ作って、食品ロスを減らすなども併せて今回実施すれば、データからも保護者とか一般市民の理解が絶対もらえると思いますし、皆さんにも納得性とか、満足度が向上するのではないかと思いますので、ぜひそこも合わせてご検討いただければと思います。

(委員)

去年、この会議の最初に、給食費は1食当たり280円という提案があり、それではきついだらうということで、10円上げて290円になりました。その時点では少しでもデザートとかがつけばという希望を持っていました。しかし、今年度に入る直前でお米の価格を聞き、当初立てていた献立のままでは実施ができないため、献立の見直しをしました。その中でデザート等を全部削らずに、何とか提供できないだろうか、いろいろな工夫をしましたが、赤字で終わるわけにも当然いかないので、やむなくデザートを削ったというのが1学期の現状です。

2学期の物資選定が終わり、価格が下がる給食物資はほぼなく、同じか上がっている状態で、今後、野菜の値段もこの暑さでどうなるのか、そこに付随する肉とか魚とかも今の価格でいけるのかどうかと思っています。統計的には、提案されている金額になると思いますが、来年度の給食物資の価格がはっきり決まっていな中では、これでやれると言えない状況です。

ただ、学校に来る楽しみの一つが給食だという子がいっぱいいるのも、現場で気づいてますので、給食の楽しみを取らないギリギリで、今年度は何とかしのいでいき、来年は少し余裕が持てる金額設定がされると、とてもありがたいと思います。

(議長)

今の意見を総合するまでもなく、値上げについては全員が賛成というご意見かと思えます。

2点、別件を含めると3点ご意見がありますが、1点目は、小学校325円、中学校の参考価格354円、これの詳細な根拠をお示しいただきましたが、これからの物価上昇を踏まえたときに大丈夫でしょうかという一つの疑義がでていると思います。

おそらく現状で、素材の工夫や、デザート等は昨年から目いっぱい工夫してギリギリの金額で給食を提供しており、物価上昇を踏まえて現状の給食費の額から算定がされてますので、もし想定以上の物価の上昇があった場合に、切りようがないという状況での算定であるので、これで大丈夫でしょうかということが一点。

それから、今回諮問いただいているのは来年度の給食費ではあるので、この委員会の守備範囲は来年度ですが、今年は大丈夫ですかという疑義もでております。それについては触れるかどうかはこの後、事務局のご意見を伺いたいところではございます。

3点目としまして、デリバリーの喫食率が上がってきているというご報告いただきました。その中で、デリバリーという性格上やむを得ないところはあるのだけでも、食品のロスが減らせるような工夫であれば、なおありがたいのではないかと3点が上がってきているかと思っています。

(委員)

もちろん給食の楽しみな部分は大切だと思いますし、それと同時に、食のバリエーションも大切で、小・中学生というのはそもそも最も多感な時期で、将来の食の

基礎を作る時期に学校で味わった様々な食材、様々なメニューが、きっと彼らの人生のベースになるでしょう。もちろんご家庭での経験も重要ですが、一方で学校での経験も大変意味があると考えたときに、やはりどうしても素材のバリエーションの絞り込みをせざるを得ないことは、とても悲しいという気がいたしました。それは、栄養教諭さん方のご努力だけではいかんともしがたい部分かと思えます。

(議長)

本日の最終的な狙いですが、値上げに対して賛成ですっていう答申のみならず、額についてもこの額が適当であるということまで欲しいのですよね。

(事務局)

去年は、現状を踏まえて、小学校、中学校それぞれ20円の値上げの諮問をしましたが、それでは足りないのではないかとということで、最終的に30円ずつという形の答申をいただきました。

現時点でお話伺っているところですが、来年度のさらなる上昇を踏まえ、金額を出していただき、答申いただいた金額を最終的に市長の承認を得て決めていくところです。事務局としては、経緯等を説明しながら、了解を得るように対応していくと考えているところです。会長にまとめていただいたように、事務局も含めて、値上げは必要と思っていますので、今日お持ち帰りいただいて、次回、金額の議論ができればと思っています。

(議長)

事務局から説明がありましたが、最終的にはある程度の金額ということで、これから委員の皆様におかれましては、少しお時間いただいて考えていただきますが、そこに至る前に、事務局に伺っておきたいことや、あるいは実際に担当されてる先生方に伺っておきたいとかございましたら、お願いいたします。

(委員)

11ページの小学校費の内訳ですが、令和6年度から令和7年度の物価上昇率を参考にして8年度の給食費を算定しており、主食はご飯の物価上昇率が大きいため、パンの上昇率で計算していますとのことですが、普通、高い方で算定した方が安全ですが、でもここ1年間の米の価格の上昇率は異常な高さであり、また今年の新米の価格上昇を見ると、まだまだ上がるかもしれないと思うと、この3.76%というのは、お米を考えると本当にこの数字でいいのかと思いました。

(事務局)

ご飯は備蓄米も出てきており、少し落ち着いているような気もしますし、しかし生産が足りないという話も出てきているところですが、今年のように62.31%まで上がることはないと考え、また、実際に今のお米の単価に3.76%を掛けておりますので、妥当ではないかと思っています。もし今年ぐらいに跳ね上がってしまうと話は変わりますが、今年単価10kg当たり6,050円に対して上昇率をかけて算出しておりますので、そこまでの値上がり幅ではないと思っています。

(委員)

12ページのお市の給食費の比較という一覧表についてですが、中学校の給食費ですが、本市と同じデリバリー方式を採用している、1番のC市とか3番のM市とか5番のD市といろいろありますが、9番のF市と1番のC市では、約70円の差がありますが、この差というのは、業者さんが何社かあると思いますが、内容が違うのか、それともカロリーは同じなだけけど食材をいいものを使っているのか、それとも業務が多いのかとかそういった少し細かいですが、分析というか、そういった情報をお持ちでしょうか。

(事務局)

そこまでの分析はしていません。調査をしたときには、現在の金額がいくらかという調査のみでしたので、デリバリー方式であっても食材費だけですので、委託費等の金額は含まれてはいません。食材の仕入れの方法とかは違う可能性はあるかとは思いますが、そこまでの細かい情報まではいただいてないです。

(事務局)

デリバリーでも市によっては、大盛を選べる市もありますが、今回は普通盛りですので、基本的に先ほど説明があった文部科学省の栄養の基準を満たすような給食というところで、量などの差はないはずです。

(委員)

8ページに6ページから続く本市の物価高騰に対する取組に、給食への影響ということで4点挙げられていますが、給食費を令和8年度上げると、例えば、先ほど非常に楽しみだというお話もありました一つ目の果物やデザートやジュースの回数が増えるとか、同じ食材を使って何かいつも副菜が一緒だということですが、少しこの影響で書かれてるようなものが改善されることの見通しがあるのか、それとも非常にいろいろな物資が高騰しているので、もう少し上がらないと改善までは至らないとかをお聞かせいただくと、次回の参考になると思います。

(事務局)

今、実際に切り詰めている状態です。物価高騰分を上げて、多少の変化は、あるのではないかと見越してはいます。

ただ、本当にもう切って切ってっという状態の中を少しでも良くしていこうというところでもありますので、もし今年のような物価高騰があったときは話が違ってきます。ただ、同じぐらいの増加であれば、多少中身が良くなるのではないかと考えています。

(委員)

ゼリーくらいは付くのかみたいなことでしょうか。

(委員)

なんとか付けたいという思いで、今回この物価上昇率から金額を算出しました。

今後、令和8年4月からの物資の選定を行いますので、その時にならないと、最終的な金額はわからないというところですが、何とか耐えうるような金額ではないかと思っています。

(委員)

メーカーとか米の値段が気になるころだと思います。9月に入ってこれからだんだんと新米が出てくるみたいですし、金額を見通せないことは皆さん同じ認識かと思っています。次の会議が10月の終わりか11月の予定なので、その頃になればだいぶ新米が出回って、メーカーの見通しは、少したちやすくなると思います。

次回、答申の金額を確定すると思いますが、そのときに、今回算出していただいた案に対して、例えばさらに上げなければいけないのか、このままでいけるのかという調整をした方がいいと思います。

10月の中旬にもう一度状況を確認していただき、もし調整が必要であれば事前にメール等で情報を送っていただき、次回、それを加味して検討した上で答申した方がよいのではないかと考えます。

(議長)

確かにこれから1か月半ぐらい待てば、今は特にお米の値段が見通せないが、10月になるとある程度見えてくるので、それを踏まえて答申をする。まずはその時点での米のメーカーの動きによるデータを精査していただくことと、この場でいただくよりは事前に情報をメールで委員の方にお知らせいただく。

質問ですが、諮問額が変わるということはございますか。

(事務局)

諮問を新たにするつもりはありません。

昨年も説明しましたように、諮問額に対していくらという金額で答申をいただき、その答申された額で定めた経緯もございますので、諮問額に対して、もっと高い答申額はあるだろうとは思いますが。

(事務局)

委員に質問ですが、6ページに物価上昇率の推移をお示してありますが、実際、製造現場でもこのような感覚でしょうか。

(委員)

賃金の上昇率が、これ大体平均5%ぐらいで、私は製造業の組み立て産業で、部品を買ってきて、組み立てをし、それを販売するというような仕事に携わっています。部品の値上げ交渉というのは非常に高まっていくという実感はあります。

加えて、組み立てた商品をお客様に提供する際、最近高額値上げをどうしてもお願ひしないといけないので、そうすると、お客様の購買意欲が下がって、販売が下がるのは致し方ないのですが、先日もニュースでも取り上げられていましたが、どうしてもその売っている値段に対して製造原価が割に合わないものは製造中止にせざるを得ないところもありまして、現場でのジレンマはあります。

一方で去年から消費者物価指数が7%ぐらい上がっており、それは実感しています。

(事務局)

ありがとうございます。参考にさせていただきます。

(議長)

今回は保護者の負担とか補助金とかを考えず、各給食食材費として適正な額をということで、考えております。

ただ実際に給食費を支払う保護者の立場から、ご意見いかがでしょうか。

(委員)

先日、学校で会議がありましたので、保護者同士で話す場面がありましたが、これだけの物価高騰に対して給食費は今のままでは安すぎるよねという認識はあります。もちろん、一保護者としたら1円でも安い方がいいということは、誰でも思うことではあると思います。ただ、本当に栄養士の方があれだけの努力をされているということは、この間の会議で分かりました。しかし、参加していない保護者は、子どもたちの安心安全の給食のためにいろいろな努力をされているということが、あまりわからないのではということもあり、学校の中でそのような方がいるということをもう少し広めていきたいと言っていたところでした。

そのように情報を開示していくことで、いろんな保護者にも納得していただけるかと思えます。

(議長)

ありがとうございます。

本日の時点では大きな方向性としては、値上げは当然であり、値上げに対しては、全員が賛成である。

額に関しては、この後の物価の上昇、特に、お米の値段がどう動くかを踏まえて、次回に答申という形で、お示ししたいというのが、委員の皆様のご意見かと思えます。

それでは本日の議題の審議につきましては終了させていただきます。

(事務局)

神戸会長、進行、ありがとうございました。

7 事務連絡

8 その他

9 閉会